

# 2008年3月期決算説明会資料

2008年4月30日

川崎重工業株式会社



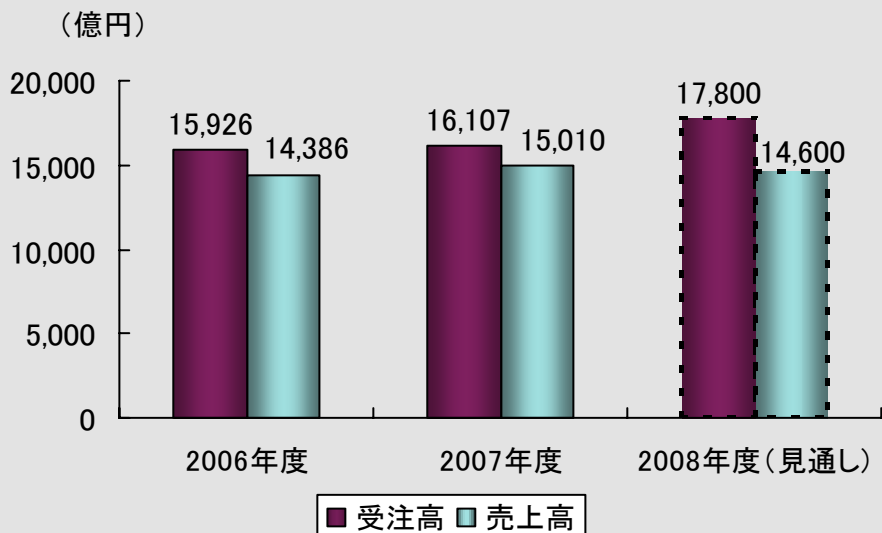
# 目次

---

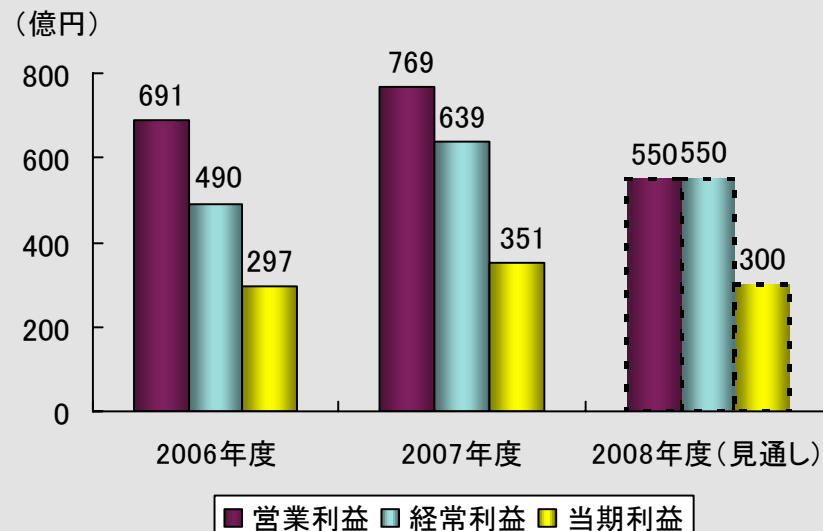
・2008年3月期 連結決算の概要	1
・前年比損益増減要因分析	2
・有利子負債およびキャッシュフロー	3
・セグメント別決算実績と業績見通し	
船舶	4
車両	5
航空宇宙	6
ガスタービン・機械	7
プラント・環境	8
汎用機	9
油圧機器	10
・研究開発費・設備投資・期末従業員数	11
・2008年度セグメント別業績見通し	12
・2008年度セグメント別受注高の見通し	13
・連結セグメント別の状況(2007年度実績)	14

# 2008年3月期 連結決算の概要

受注高・売上高



損益



売上加重 平均レート	2006年度 (実績)	2007年度 (実績)	2008年度 (前提レート)
ドル (¥/USD)	117	115	100
ユーロ(¥/EUR)	152	162	160

(億円)

	2006年度 (実績)	2007年度 (実績)	2008年度 (見通し)
営業利益	691	769	550
経常利益	490	639	550
当期利益	297	351	300

# 前年比損益増減要因分析

## ≡ 営業損益の増減要因 (＋77億円)

為替による影響	＋ 11億円
増収効果	＋ 98億円
販売費及び一般管理費の増加	▲ 62億円
素材価格上昇による影響	▲ 111億円
税制改正に伴う減価償却方法変更の影響	▲ 39億円
コストダウン・固定費低減他	＋180億円

## ≡ 営業外損益の増減要因 (＋71億円)

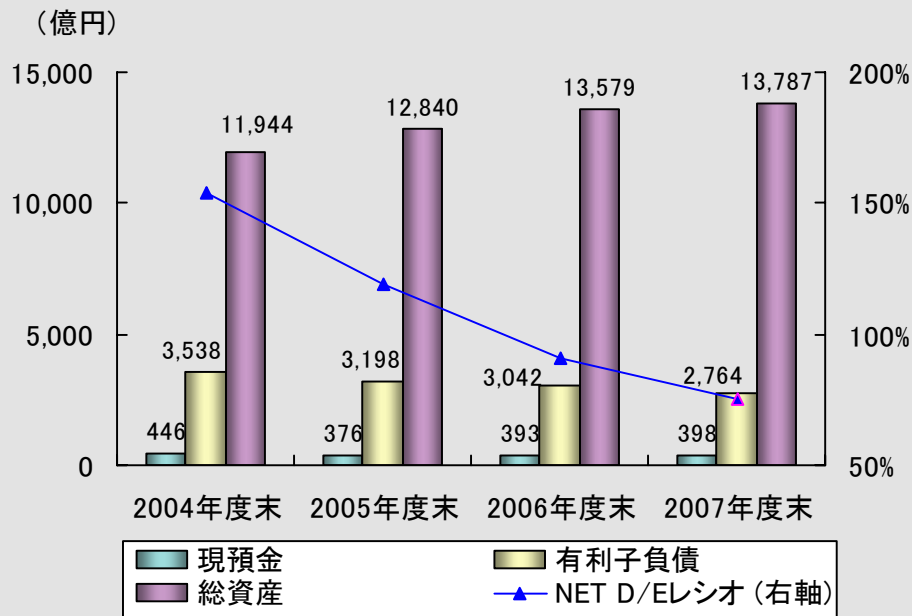
金融収支	▲ 1億円
有価証券売却益(前期8億円→当期4億円)	▲ 4億円
持分法による投資利益(前期26億円→当期76億円)	＋ 49億円
為替差損(前期133億円→当期115億円)	＋ 18億円
その他	＋ 9億円

## ≡ 特別損益の増減要因 (▲21億円)

退職給付信託設定益(前期ゼロ→当期13億円)	＋ 13億円
減損損失(前期ゼロ→当期27億円)	▲ 27億円
環境対策引当金繰入額(前期ゼロ→当期21億円)	▲ 21億円
その他	＋ 14億円

# 有利子負債およびキャッシュフロー

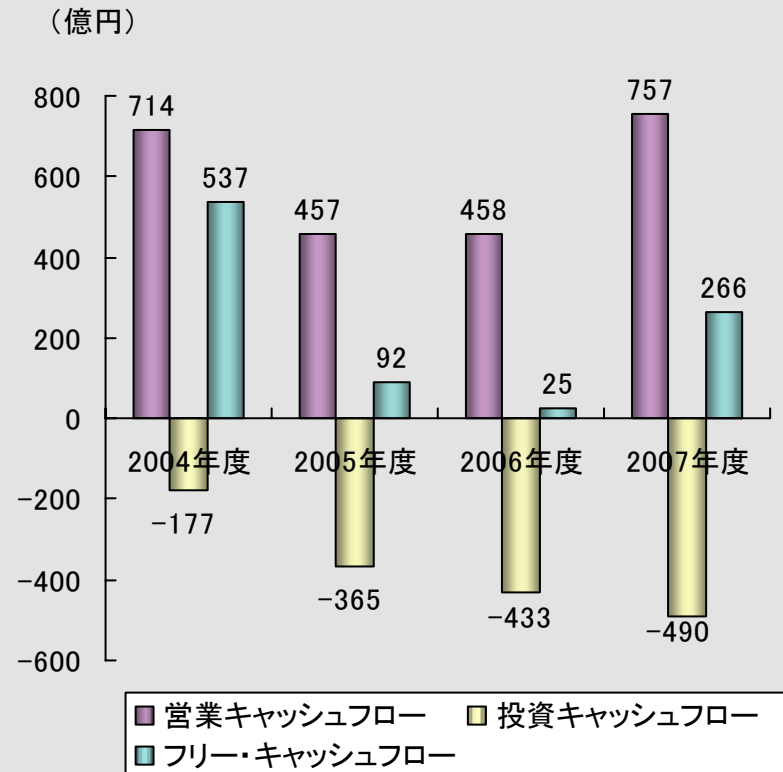
B/S



(億円)

	2004年度末	2005年度末	2006年度末	2007年度末
NET有利子負債	3,092	2,821	2,648	2,365
自己資本	2,014	2,375	2,904	3,131
NET D/ELレシオ	154%	119%	91%	75%

キャッシュフロー

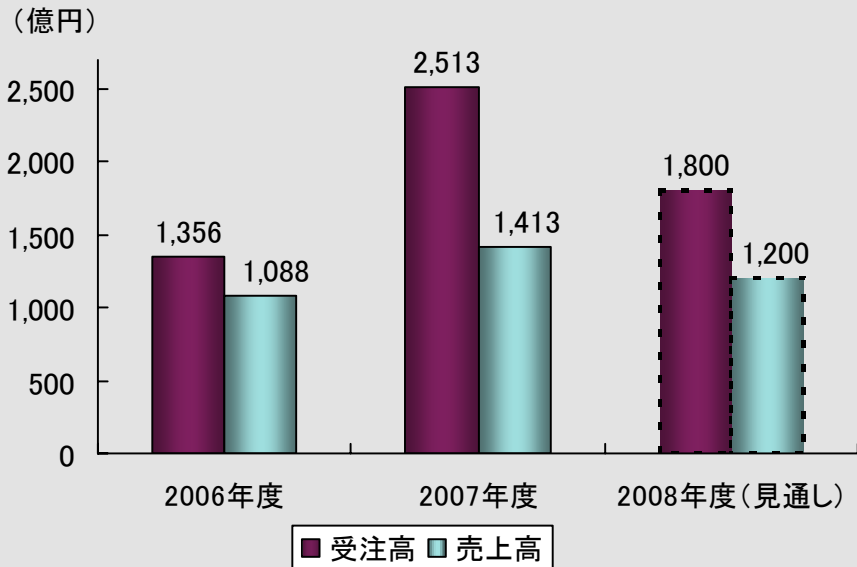


\* フリーキャッシュフロー: 7年連続黒字 (合計約1,700億円)

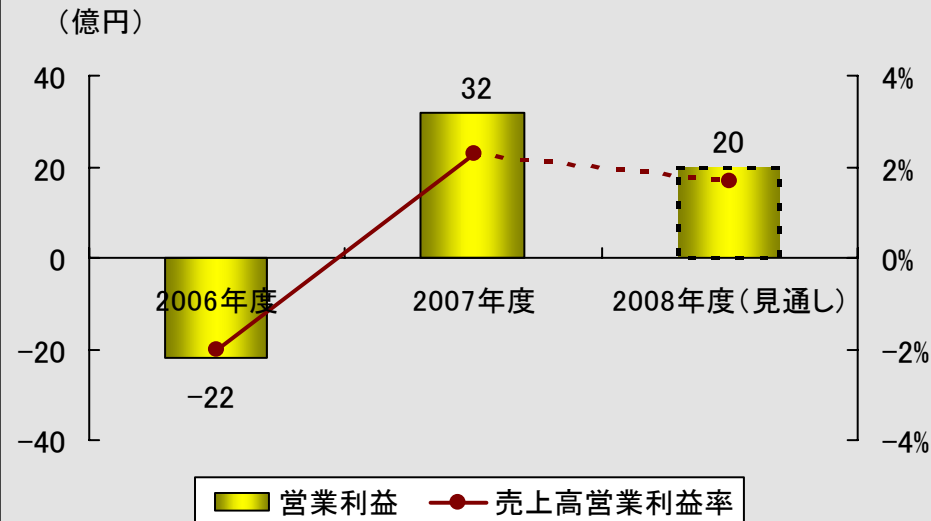
\* 有利子負債: 受注増に伴う資金需要はあるものの、利益の伸びに加え、売掛回収の促進等資金効率の向上に努めた結果、2007年度末残高は2,764億円と前期末より277億円の減少となった。  
(直近5年間で約1,500億円の減少)

# 船 舶

受注高・売上高



営業利益・売上高営業利益率



(隻)

	受注		売上	
	2006年度	2007年度	2006年度	2007年度
LNG船	3	2	6(3)	6(4)
小型LNG船	-	-	-	-
LPG船	2	3	-	3(1)
VLCC	-	-	2	1
バルクキャリア	8	22	8	5
潜水艦	-	1	2(2)	2(1)
合計	13	28	18(5)	17(6)

注) 括弧内は進行基準売上(内数)

## 2007年度実績

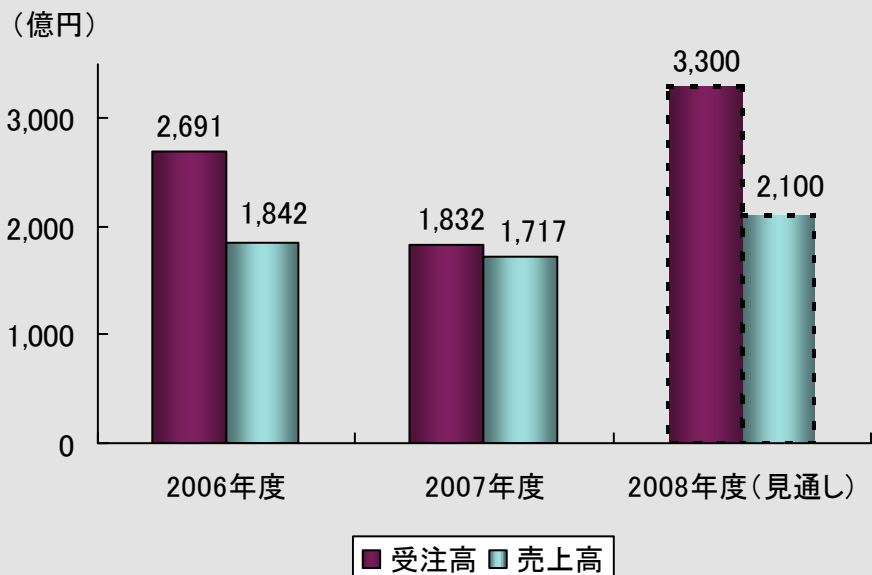
- \* LNG船、LPG船、バルクキャリア、潜水艦の計28隻の大量受注
- \* LNG船、LPG船等の売上増及び船価アップによる採算改善等による黒字転換

## 2008年度見通し

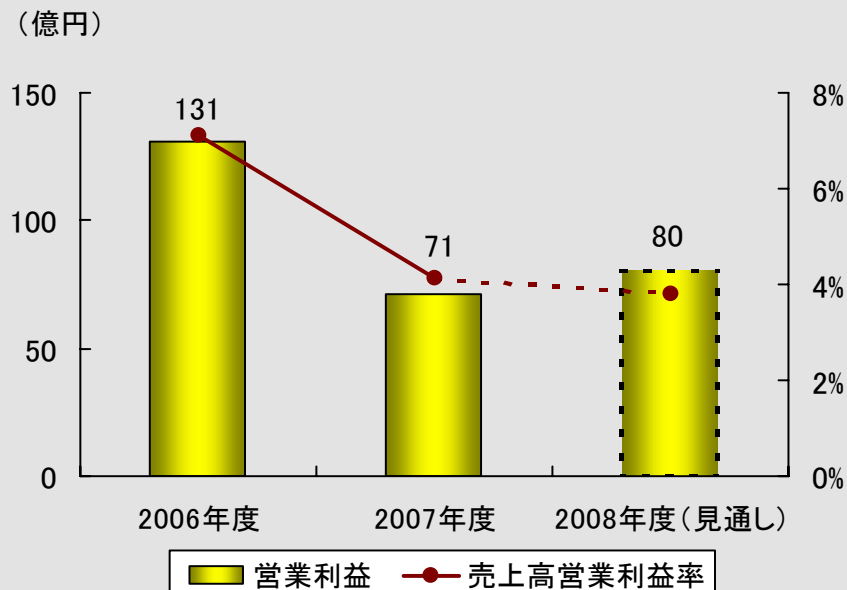
- \* LNG船、LPG船、潜水艦等の売上減
- \* 微減の利益計画：(+)高船価船の売上増による利益増  
(-)鋼材価格の上昇等による収益圧迫

# 車 両

受注高・売上高



営業利益・売上高営業利益率



## 2007年度実績

### [受注]

\* 北米向け通勤車両の大型受注獲得

ニューヨーク市地下鉄R160追加車両(260両/約4.5億US\$)

(参考)2006年度の主な海外受注案件

ニューヨーク州交通局外ロース鉄道向け通勤電車(300両/約7億US\$)

台北市向け地下鉄システム

(当社、丸紅およびCTCIの三社コンソーシアムの共同受注 約570億円)

### [売上・損益]

\* 海外大型案件の売上減等による利益減

## 2008年度見通し

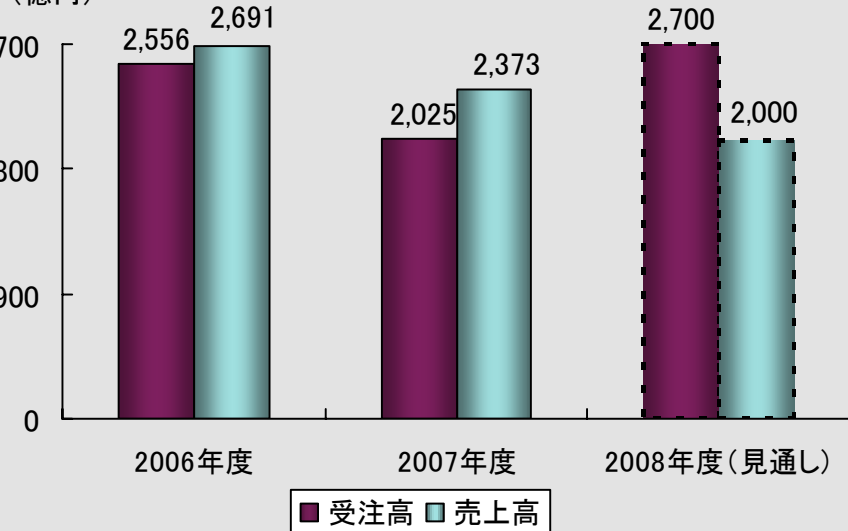
\* アジア、北米向け案件の売上増に加え、(株)アーステクニカの連結子会社化による売上増

\* 微増の利益計画: (+)アジア、北米向け案件の売上増による利益増  
(-) 為替(計画レートUSD=100円)による収益圧迫

# 航空宇宙

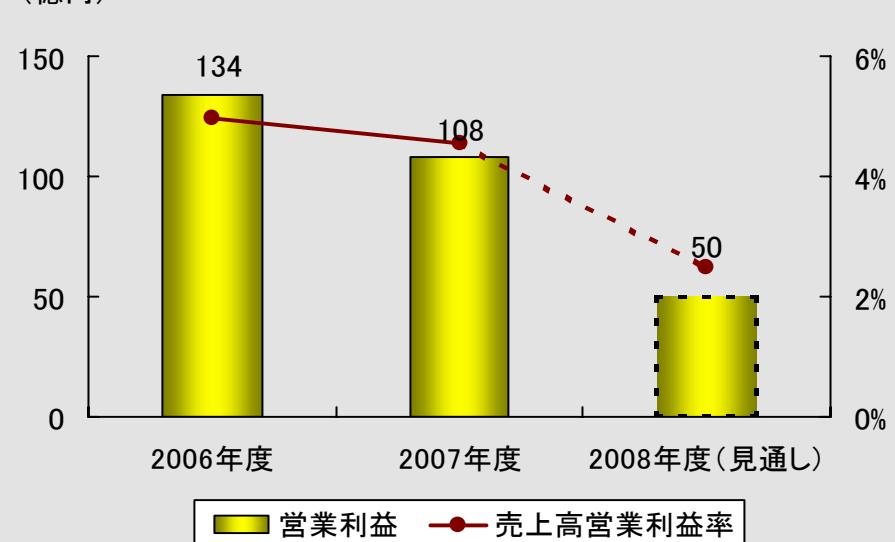
受注高・売上高

(億円)



営業利益・売上高営業利益率

(億円)



<民需分担生産品の売上機数> (機)

	売上	
	2006年度	2007年度
B777	73	82
B767	13	12
Embraer170/175	37	69
Embraer190/195	79	79

2007年度実績

\* 防需大型機(P-X/C-X)開発プロジェクトのピークアウト  
⇒受注、売上及び利益ともに減少

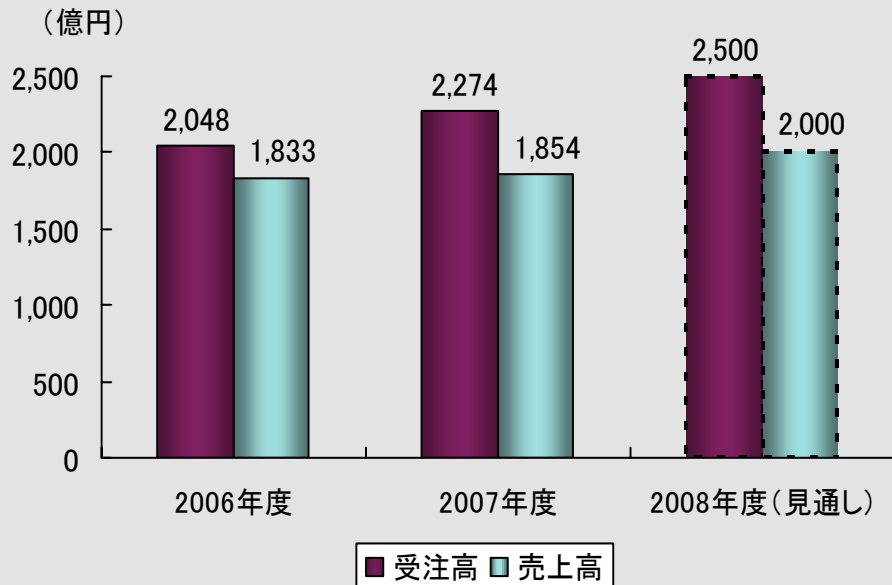
2008年度見通し

\* 防需案件の減少による売上減  
\* 防需案件の減少及びBOEING社向けB787分担生産品の量産開始に伴う  
初度費用償却負担による利益減



# ガスタービン・機械

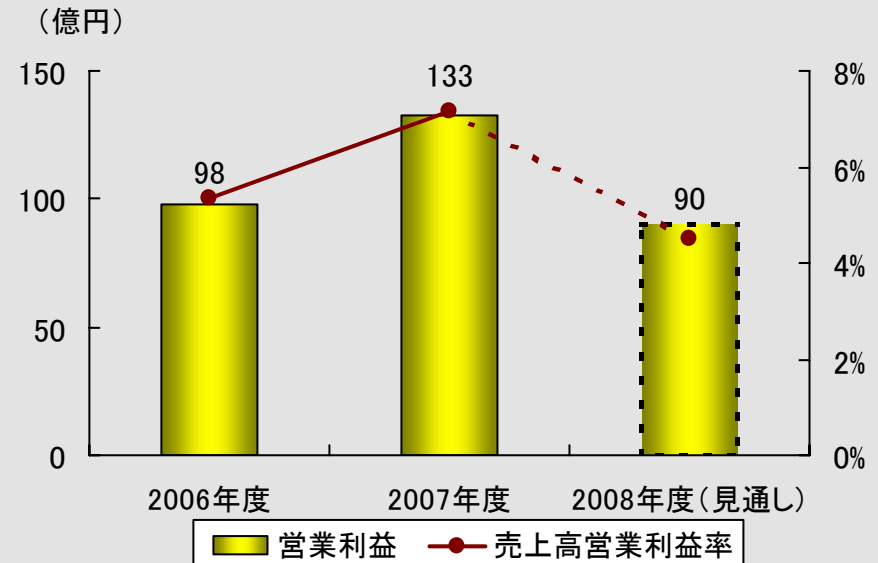
受注高・売上高



## 2007年度実績

- \* 民間航空機用エンジン、船用ディーゼル主機等の受注増
- \* 民間航空機用エンジン、空力機械等の売上増による利益増

営業利益・売上高営業利益率



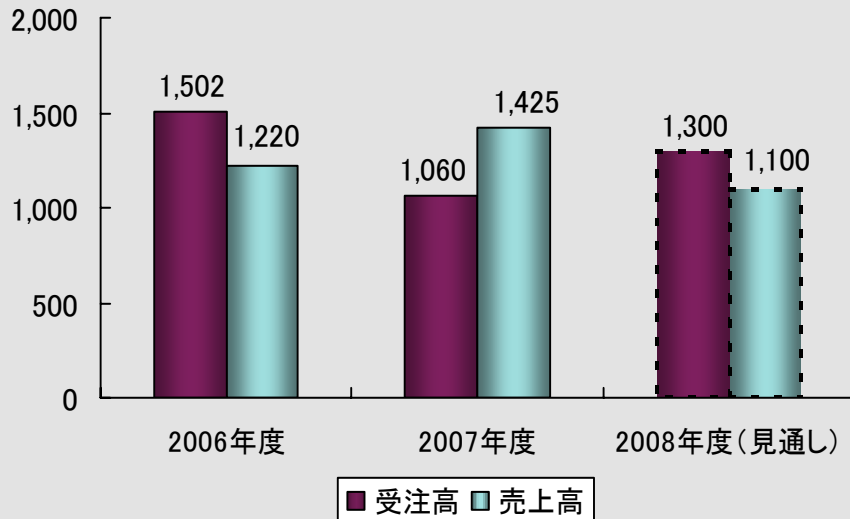
## 2008年度見通し

- \* 民間航空機用エンジン、産業用ガスタービン、船用ディーゼル主機等の売上増
- \* 素材価格上昇や為替の影響(計画レートUSD=100円)等による利益減

# プラント・環境

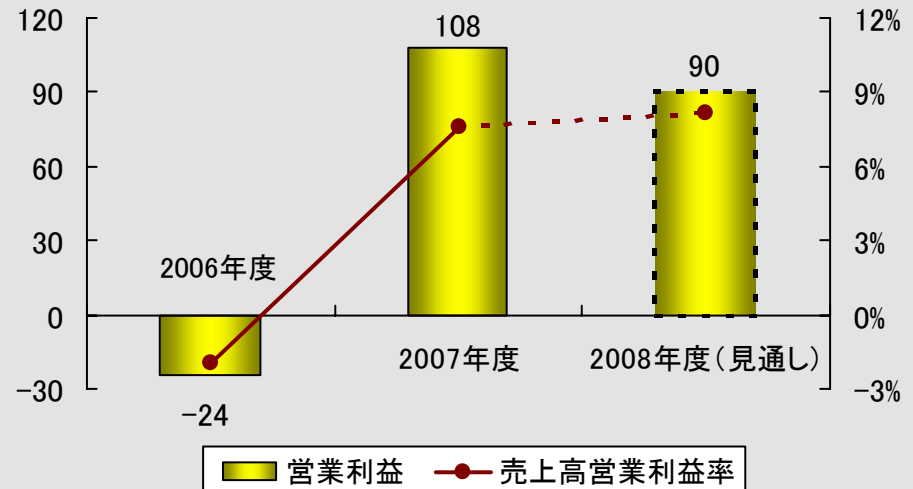
受注高・売上高

(億円)



営業利益・売上高営業利益率

(億円)



## 2007年度実績

- \* プラント部門の海外大型案件の受注減  
(参考) 2006年度の主な受注案件
  - ・韓国/フェロニッケル精錬プラント
  - ・パキスタン/尿素プラント
  - ・ベトナム/セメントプラント

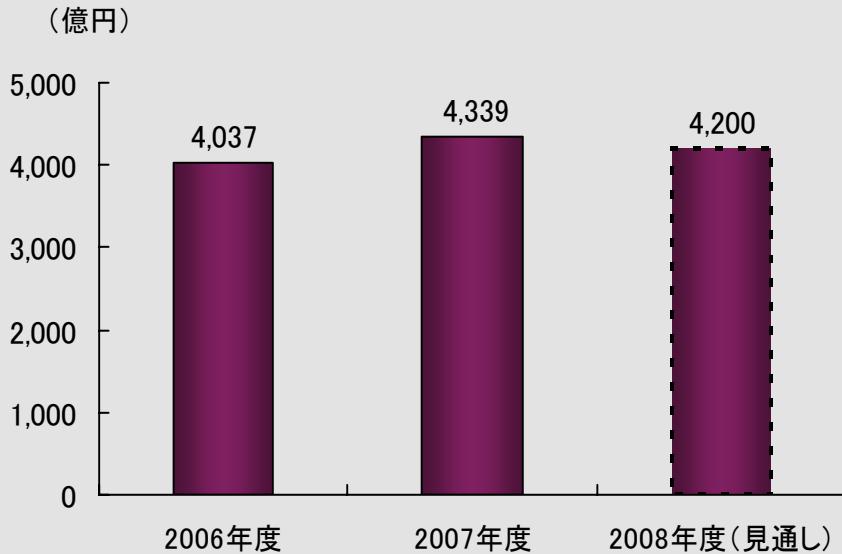
- \* 海外大型プラント案件の売上増
- \* プラント部門と環境部門の統合による合理化効果及び不採算案件の減少等による大幅利益増

## 2008年度見通し

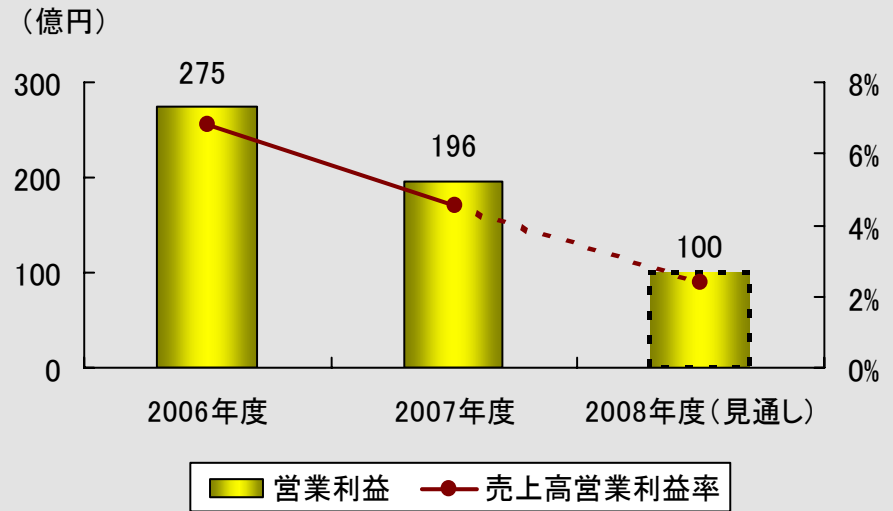
- \* 選別受注の徹底
- \* 海外大型プラント案件の減少及び環境装置案件の完工による売上・利益減

# 汎用機

売上高



営業利益・売上高営業利益率



<コンシューマー向け製品 地域別売上台数・金額 >

(単位: 台数: 千台 / 金額: 億円)

仕向地	2006年度		2007年度	
	台数	金額	台数	金額
国内	21	159	20	152
北米	254 (140)	1,837	230 (124)	1,771
欧州	97	809	118	1,107
その他	130	326	151	396
合計	502	3,131	519	3,426

注1) 二輪車、四輪バギー車(ATV)、多用途四輪車、パーソナルウォータークラブ  
(「ジェットスキー」)およびこれらの関連製品を含む。

注2) 国内にはOEM供給による販売を含む。

注3) 括弧内は二輪車分を示す。(内数)

2007年度実績

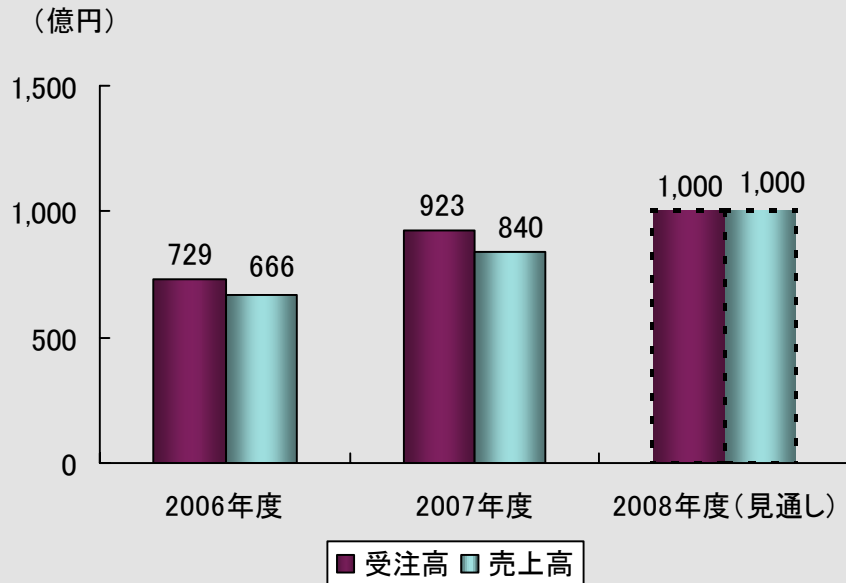
- \* 二輪車の売上: (+) 欧州市場 (-) 米国市場
- \* 産業用ロボットの高水準な売上維持
- \* 北米向け二輪車の売上減及び素材価格上昇等による利益減

2008年度見通し

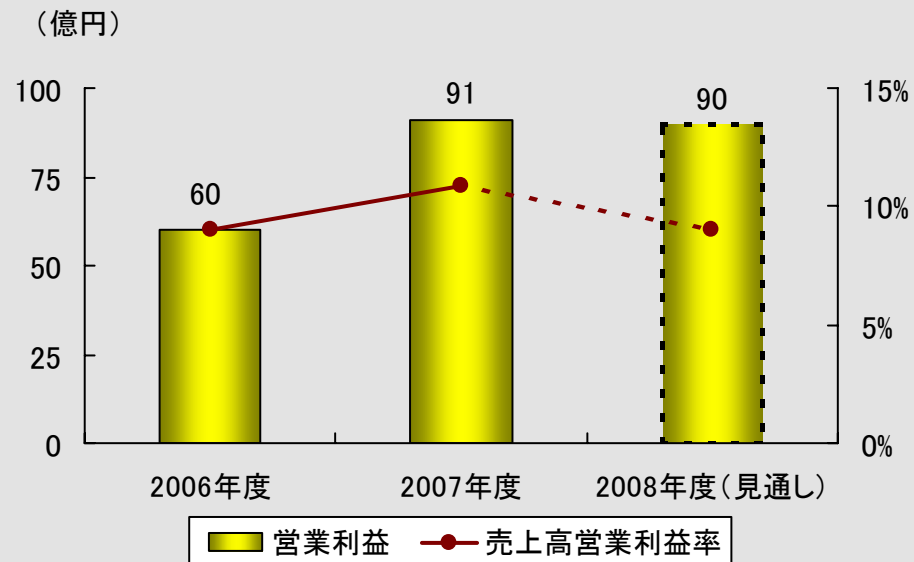
- \* 素材価格上昇および為替の影響(計画レートUSD=100円)等による利益減

# 油圧機器

受注高・売上高



営業利益・売上高営業利益率



## 2007年度実績

\* 中国を始めとする建設機械向け油圧機器の売上増による利益増

## 2008年度見通し

\* 建設機械向け油圧機器の売上増

\* 前期並みの利益計画: (+)建設機械向け油圧機器の売上増による利益増

(-) 素材価格の上昇等による収益圧迫

# 研究開発費・設備投資・期末従業員数

(億円・人)

	2006年度 実績	2007年度 実績	2008年度 見通し
研究開発費	338	362	410
設備投資	392	505	1,100
減価償却費	302	374	490
国内	22,872	23,542	24,800
海外	6,339	7,021	7,800
期末従業員数	29,211	30,563	32,600

# 2008年度セグメント別業績見通し

(億円)

	売上高		営業利益	
	2007年度 実績	2008年度 見通し	2007年度 実績	2008年度 見通し
船 舶	1,413	1,200	32	20
車 両	1,717	2,100	71	80
航空宇宙	2,373	2,000	108	50
ガスタービン・機械	1,854	2,000	133	90
プラント・環境	1,425	1,100	108	90
汎用機	4,339	4,200	196	100
油圧機器	840	1,000	91	90
そ の 他	1,045	1,000	25	30
合 計	15,010	14,600	769	550

2008年度前提レート  
USD=100円/EUR=160円

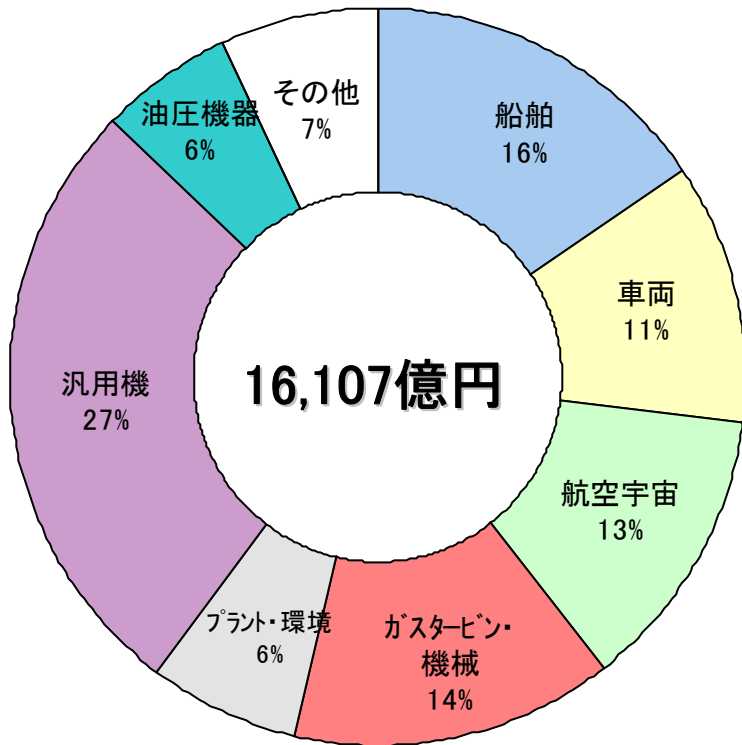
# 2008年度セグメント別受注高の見通し

(億円)

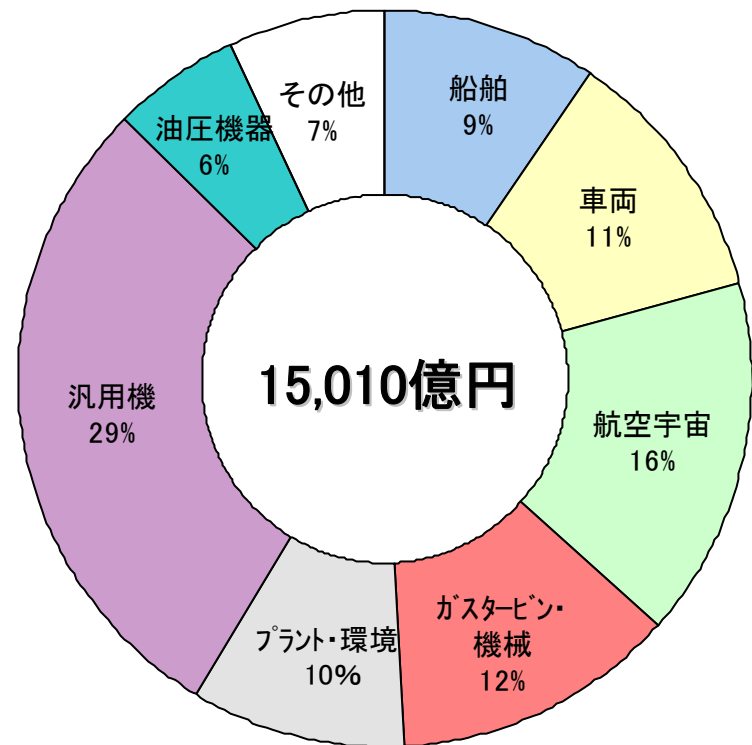
	受注高		
	2006年度 実績	2007年度 実績	2008年度 見通し
船 舶	1,356	2,513	1,800
車 両	2,691	1,832	3,300
航空宇宙	2,556	2,025	2,700
ガスタービン・機械	2,048	2,274	2,500
プラント・環境	1,502	1,060	1,300
汎用機	4,037	4,339	4,200
油圧機器	729	923	1,000
そ の 他	1,006	1,139	1,000
合 計	15,926	16,107	17,800

# 連結セグメント別の状況(2007年度実績)

受注高



売上高





# Kawasaki, let the good times roll !

## ご注意

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことはお控え下さるようお願い致します。実際の業績は、外部環境及び内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることを御承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、税制や諸制度などがあります。